

## 2010 インカレロング エリートクラス推薦立候補用紙

・大学名 東京大学

・学年 4年

・氏名 矢野貴裕

・セレに未出走または不通過だった理由

※フリーフォーマット(ご自由にご記入ください)

セレクションで不通過だった理由は、一口に言うと、「体調不良」となります。百日咳の可能性もあるので現在採血して検査中ですが、結果はしばらく出ないので、当面は通常の「体調不良」と表現します。

以下、レース中に本当に「体調不良」だったことの状況説明を①で行い、続く②でその証拠を述べます。そして最後に③において、今回の体調不良における私自身の過失の小ささを主張いたします。少々長くなりますが、ご容赦ください。

### ① レース中の「体調不良」の状況説明。

前日まで咳が止まらず運動どころではなかったので、当日もレースが始まる直前までは、一切走らずに体調の維持に努めました。セレクションの朝にも咳止め薬を服用するなどしましたが、いざレースが始まって走り始めると、すぐに咳き込み始めました。

咳が始まると間もなく、発熱により体温もあがり、咳込みが激しくなり吐き気にさえつながる状況でした。このような状況で、私は立ち止まって腰を折って咳き込むこともしばしばで、何度も棄権しようかと考えていました。ただ、どちらにせよ推薦に立候補するのであれば、何としてでも完走した上で立候補しなければ筋が通らないと思いレースを続行し、ゴール後は倒れて動けなくなるほどでした。(運営者の方に会場まで車で運んでもらい、会場の片付けが完全に終わる頃まで、会場の片隅でウィンブレを着こんで寒気に震えて横になっていました。)

### ② レース中の体調不良の証拠について

僕はレースの全体を通して、激しく咳き込みながらコースを回っていましたので、多くの選手が僕のことを目撃しています。僕も多くの選手とすれ違ったことは自覚しているのですが、熱で集中力に欠いたこともあり、レース後には6名の選手のことを思い出すことしかできませんでした。ですが、6名の方に後日連絡を取り、僕が実際のレース中に激しく咳き込み、時に立ち止まって咳き込んでいる or 苦しそうにしている所を目撃したことを証言して下さるかを確認したところ、全員が承諾を下さったので、以下に簡単にご紹介します。

・「レース中、平坦な道に関わらず矢野が激しく咳き込んでしばらく立ち止まっていた所を目撃した」@ 2ポ→3ポの最初の南北の尾根道。早稲田大学の選手。

・「レース序盤、平坦な道を走っている時に矢野が激しく咳き込みながら走っている所を目撃した」@ 2ポ→3ポの長い尾根道上。慶應大学の選手。

・「レース中に矢野が激しく咳き込んでいる所を目撃した」@ 8 ポ付近及び中央給水所付近。農工大学の選手。

・「レース中盤に矢野が激しく咳き込んでいるところを目撃した」@ 8 ポ付近。慶應大学の選手。

・「レース中に大量の水を給水所で消費し、明らかに咳込み等で辛そうにしている所を目撃した」@ 中央給水所付近。東京大学の選手。

・「レース中に、道上にも関わらず矢野が激しく咳き込んで立ち止まっている所を目撃した」@ 15 ポ→16 ポの舗装道上。東北大学の選手。

このようにレース全体を通して咳込みながらの展開でした。最後のポストをとってゴールに向かう時も、ゴール直前で咳き込んで立ち止まってしまったことはゴールにいた多くの選手が目撃していると思います。しかしその状況はそれだけに限らず、2→3のような本当に序盤からずっと、同じように最悪の体調でコースを回っていました。

冒頭述べた通り、この体調不良がただの風邪なのか百日咳という病気なのかは現在不明であり医師の診断書も発行が出来ない状況ですが、「実際にレース中に、通常の実力が発揮できる状況ではなかったこと」の証明としては、以上の6名の方の証言で足りると考えております。以上をもちまして、レース中の体調不良の証拠といたします。

### ③今回の体調不良における私自身の過失について。

体調不良を理由にセレクションで不通過であることは通常、「体調管理も実力の内」という扱いになると思いますし、それは致し方のないことだと考えています。ただ、今回の私の場合では、数日前から激しく咳き込む病状が現れて以降、十分に体調管理に取り組んだにも関わらず治癒させることが出来なかったという点で、セレクションレース直前の気の緩みによって体調を崩して当日に実力を発揮出来なかった状況とは異なると思っています。当然、セレクションの数日前から体調が悪化するという事態も全て「体調管理が不十分だった」と言われてしまえば反論は難しいですが、一切風邪や病気にならないことは不可能ですし、今回の私のように、セレクションが近づく中運悪く体調を崩した時に、他のことに優先して体調の回復に努めた場合には、結果としてセレクション当日までに体調を完治させられなかったとしても、少なくとも本人の過失は大幅に縮減されるべきだと思います。

では具体的にセレクション直前期についてご説明します。

私は、2009年度インカレミドル終了後、ロングセレのある6月20日までの3カ月+αの期間で、総走行距離900キロのトレーニングを積むことを決意し、5月31日時点で750キロを走破。一月当たり300キロペースで、計画通りのトレーニングを積んできました。

その大詰めを迎えつつある6月15日の終了時点での総距離は871キロ。16日(水)17日(木)の2日間で20キロ後半の距離を走り、ロングセレ前日の19日に5キロほど調整で走ることで、ロングセレに向けてベストのコンディションを作ることができ、3か月がかりの900キロという目標も達成できると考えていました。

そこで状況が一変します。16日の早朝、全身の痛みと激しい頭痛を感じ、一気に発熱、咳、鼻づまりなどの症状に見舞われました。ですが、もともと体が強いこともあり、市販の風邪薬や滋養強壮ドリンクを服用することと、一日中ベッドで安静にしていることで、すぐに咳を除く全ての症状が無くなりました。16日の夜の時点では、もう明日木曜日は走ってトレーニングできる、今日走れなかった分、明日午前と午後の2回走って25キロくらい走ろう、と考えていました。

ただ、翌17日の朝、熱や頭痛はないもののしつこい咳が続いていました。ここで僕は非常に悩んだ末、900キロという3か月がかりの目標を断念して、体調の完治に向けて専念することを選択しました。無理して走れば900キロという目標は達成できるが、それではセクションまでに体調を戻すことは出来ない、と。この3ヶ月間ずっと目標にしてきた、心の支えにしてきた900キロという数字へのこだわりを捨てることは非常に辛かったですが、この時点で体調は万全に取り戻せると、自分では自信を持っていました。

そして18日と19日は通常の日常生活を送りました。ただ、いつになっても会話をするたびに咳が出る状態は変わらず、階段の上り降りで肺を少し使うだけで咳が出てしまう状況も変わりませんでした。この期間中ずっと、喉の風邪薬を服用していたことは当然です。

19日の夕方には最終調整で少しだけ走ろうとしましたが、激しく咳き込んだため、200メートルも走らずに断念して帰宅し、最後の手段と思って市販の風邪薬と滋養強壮ドリンクを併用したりもしました。20日の朝には、少なくとも咳だけでも止まれと思い咳止めを服用しました。ここ数年風邪の症状は毎回自力で治してきたので、当然今回の風邪も治すことができるものだと思っていましたが、結果として治すことはできませんでした。

以上のように、非常に重要視してこだわりを持ってきた目標よりも優先して、完治に向けて努力したにも関わらず、市販の薬・数日間の絶対安静だけでは体調を完治させることができませんでした。そしてレースで運動が始まるとすぐに症状が出てしまい、思う様に体を動かすことが出来なかったのです。

推薦規約には「レース中に崖崩れなど、本人の過失なく負傷した場合」が不通過の理由として「基準を満たす」と認定される条件となっています。今回の私のケースではこれには該当しませんが、「レース中に」「本人の過失低く」「思うような運動が出来ない体になった」ことは相違なく、上記基準に準ずる形で、不通過の理由になると思います。

以上長くなりましたが、不通過の理由については終わります。

・これまでの実績

※フリーフォーマット(ご自由にご記入ください)

- ・2009年度インカレロング選手権クラス 19位(推薦規約では実績の基準を満たしています)
- ・2009年度インカレミドルA選手権クラス 18位(同上)

実績枠については、規約上、この両者において「基準を満たす」と認定されるので、十分な実績となっていると思います。

ただ、個人的にはこの二つの成績より、現在の自分の実力は大いに向上していると自負していますので、以下に自己PRを追加します。

① 2010年3月19日から6月15日の3カ月弱での総走行距離は871キロ。

② ロングセレ1週間前の6月13日に行われたOLKの内部練習会での成績は以下の通り。

1 矢野貴裕 35:49 (※コースは3.4キロ)

2 齋藤翔太 37:56 ロングセレ3位

3 大木 孝 39:00 ロングセレ16位

4 結城克哉 40:07 ロングセレ15位

5 中野雅之 40:50 ロングセレ14位

7 羽野嵩志 45:12 ロングセレ6位

1 1 池田純也 54:06 ロングセレ5位

通常の体調で走れば、ロングセレ通過者達に、たった3.4キロでも以上のような差をつけることも出来ますし、この3カ月のトレーニング量を踏まえると、コース距離が長くなるほど自分には比較的の優位であるので、ロングセレでは普通の体調であれば不通過で終わることはありえなかったと考えます。

どうか体調も1週間以上かけて整ってきたので、6月27日の東海インカレに急きょ参戦する予定です。そこでの結果は、この推薦立候補書の締切の関係上ここでは掲載できませんが、推薦会議の際の一つの参考にして下さると幸いです。インカレでは関東の選手権枠を確保することは当然として、顕著な成績を収められるよう精進いたします。

29日からはJWOC併設を初め海外のオリエンテーリング大会に出場し、オリエンテーリング技術のさらなる向上に努めたいと思います。推薦会議に自ら足を運ぶべきところを、欠席してしまって大変申し訳ありません。ただ、私がアピールしたいことは、全てこの立候補書に書きました。もはや私から言えることはありません。私の推薦通過を認めて下さる方の期待に必ずやお答えするには、出国を延期して無理に推薦会議に出席するより、予定通り出国して海外の舞台上でオリエンテーリングに励む方が筋が通っていると信じて、海の向こうで推薦会議の結果を頂戴しようと思います。

本当に長い立候補書で申し訳ありません。最後まで読んで下さり、ありがとうございました。